

障害者の生活 質向上を考える



川崎さんデザインを役割解説

○…福井市出身のデザインディレクターで大阪大大学院教授の川崎和男さんの講演会(福井新聞社後援)が1日、同市の県織協ビルで開かれた。川崎さんは自ら開発した医療器具を通して、健康や生活を支援するためデザインが果たす役割を分かりやすく解説した。

○…県内部障害児者団体連絡協議会が主催し、約140人が参加した。川崎さんは20代で交

通事故に遭い車いす生活になった。デザインディレクターとして、痛みの伴わない吸引型のワクチン接種器具などの開発を進めていると説明した。

○…東日本大震災では犠牲者の多くが運転中に、津波にのみ込まれ車内で亡くなっていた事例をあげ「水中でも車内が浸水しない車を開発するのが現在の目標」と話した。

来月1日、福井で講座

障害がある人の生活について考える公開講座が7月1日午後1時から、福井市の県織協ビルで開かれる。国内外で活躍する工業デザイナー、川崎和男さん(同市出身)が講師を務める。

県内部障害児者団体連絡協議会が企画した。事故で車いすの生活になった川崎さんが、障害のある子どもや高齢者の生活の質をどう高めるかについて話す。フルート奏者、浅川由美さんの演奏会もある。

無料。定員140人を15日まで受け付ける。同協議会事務局にはがきか電話で申し込む。問い合わせは〒918-8112、福井市下馬3丁目511、同協議会事務局 ☎0776(33)1110。